

# ファイヤーストーム

## 1 活動の概要

一口にファイヤーストームと言っても、ねらいによってスタイルも変わります。

○ゲームや歌、ダンスや出し物など、楽しい雰囲気で行う「ボンファイヤー」。

○厳粛な雰囲気で行うイベントの開閉会式などで行う「セレモニアルファイヤー」。

○少人数のグループで小さな火を囲む「グループファイヤー」。

(仲間との親密なコミュニケーションや活動のふりかえりなど、カウンセリングの手段ともなります)などです。いずれの場合も宿泊を伴う研修の中の印象的な場面となるものです。

## 2 ねらいとして考えられるもの

(1) 初めに実施の場合は、緊張のほぐしや親睦を深める。

(2) 宿泊研修全体をふりかえり、グループ毎のスタンプで楽しく交流する。

## 3 活動時期

4月下旬～10月頃 ※4月下旬と5月、10月には十分な防寒対策が必要。

## 4 活動場所

(1) 営火場

(2) 運動広場

※同時刻に複数の団体のファイヤーストームが重なった場合には運動広場に営火台・鉄板・ブロックを移動して、営火スペースを作り、実施していただきます。

## 5 活動人数

少人数～大人数でも可

## 6 所要時間

2時間程度

準備 およそ30分

実施 およそ1時間

後片づけ およそ30分～45分

## 7 指導依頼

(1) 基本的には、引率または団体指導者の方に直接指導していただきます。事前打合せに来所した際に指導手順について、ネイパル職員が引率または指導者の方に指導します。

(2) どうしても団体で指導できない場合は、ネイパル職員が指導しますが、他の利用団体の活動状況やネイパル職員の勤務の関係上、全ての指導依頼にこたえられない場合があります。

(3) 指導依頼をした場合でも、全ておまかせの状態にならないよう、参加者の掌握や安全管理について指導補助をお願いします。

## 8 団体で準備するもの

### (1) 参加者

虫よけスプレー 防寒着 飲み物 懐中電灯

### (2) 引率者（指導者）

救急箱 マッチもしくはライター 必要に応じてテープやCD  
必要な数のトーチ（用意できない場合はネイパルにご相談ください）  
ファイヤーストーム用薪（ネイパルで購入可 1束 1,000円）

## 9 ネイパルで貸し出しできるもの

営火台 燃料（トーチ用） CDラジカセ 延長コード マイク  
活動資料 懐中電灯 掃除用具 炭缶 炭スコップ  
 ※運動広場での実施の場合 ブロック 鉄板

## 10 活動にかかわって

### (1) 実施上の留意点

- ①30分前を目安に準備開始し、余裕をもって実施できるようにする。
- ②午後9時30分に正面玄関が施錠されるため、遅くとも午後9時には消火して後片づけが出来るよう、余裕をもってプログラムを作成する。
- ③安全面には十分配慮し、特に火気の取扱いや、火傷などのケガに注意する。
- ④営火場・運動広場ではできません。

### (2) 展開例

#### ※営火場で行う場合

| 活動           | 内 容  | 時間    |
|--------------|--|-------|
| 準備           | （ネイパル職員が立ち会います）<br>①指導者は、ネイパル職員から音響機器の使い方、燃料の取り扱い方、後片づけの仕方を確認する。<br>②営火場中央のコンクリートの上に営火台を設置する。<br>※薪の組み方については、団体の創意工夫をお願いします。 | 30分程度 |
| 実施           | ※定形はないので各団体の創意工夫とねらいに沿って進めます。<br>※薪1セットで約1時間半燃えます。   |       |
| 後片づけ<br>（当日） | ①燃え残りに水をかけ完全に消火する。<br>②消火した燃え残りを炭缶に入れる。<br>③コンクリート床にホースで水をまきデッキブラシでこする。<br>④使用した道具を片づける。<br>⑤管理小屋、掃除用具入れの点検。                 | 15分程度 |
| 後片づけ<br>（翌日） | ①炭缶を炭捨て場に持っていく。<br>②燃え残りを捨てる。<br>③炭缶を管理小屋に戻す。  | 15分程度 |

※運動広場で行う場合

(原則としてファイヤーストームは営火場で行う。他団体と活動時間が重なった場合のみ運動広場で実施。)

| 活 動          | 内 容  | 時間    |
|--------------|--|-------|
| 準 備          | <p>(ネイパル職員が立ち会います)</p> <p>①指導者は、ネイパル職員から音響機器の使い方、後片づけの仕方を確認する。</p> <p>②営火場横にある、コンクリートブロックを運動広場に置き鉄板を乗せる。その上に営火台を設置し、営火スペースを作る。</p> <p>※薪の組み方については、団体の創意工夫でお願いします。</p>                                      | 20分程度 |
| 実 施          | <p>※定形はないので各団体の創意工夫とねらいにそって進める。</p> <p>※薪1セットで約1時間半燃えます。</p>   |       |
| 後片づけ<br>(当日) | <p>①燃え残りに水をかけ完全に消火する。</p> <p>②消火した燃え残りを炭缶に入れる。</p> <p>③コンクリートブロックの上にあるものを、元の場所に戻す。</p> <p>④コンクリートブロックを営火場横に戻す。</p> <p>⑤使用した道具を片づける。</p> <p>※③、④、⑤については暗い中での作業は、営火台が熱を持っている可能性があり危険を伴うため、次の日の早朝に行うことも可能</p> | 30分程度 |
| 後片づけ<br>(翌日) | <p>①炭缶を炭捨て場に持っていく。</p> <p>②燃え残りを捨てる。</p> <p>③炭缶を管理小屋に戻す。</p>   | 15分程度 |

(3) 安全な活動をするため、次の事柄について事前指導してください。

- ①ハチが近づいてきたら絶対にこちらから攻撃(振り払うなど)せず、速やかにその場を立ち去る。
- ②ハチやハチの巣を発見した場合は必ず引率者(指導者)に連絡する。  
(指導者は事務室へ連絡してください。)
- ③ダニが衣服や体についていないか、活動中も活動後もチェックする。
- ④ダニに刺された場合は、必ず引率者(指導者)に連絡する。  
(指導者は事務室へ連絡してください。)

(4) 荒天時の対応

中止の判断は引率者が行います。しかし、大雨、強風、洪水、雷警報等が発表された場合はネイパル職員から引率者へ中止のお願いをします。

「利用のてびき」の「健康・安全対策」「野外活動のフィールドマナー」も参考にしてください。

1.1 営火場見取り図

